

本校の国際交流

～海外の特別支援学校との教員の交流～

海外からの見学・視察

東南アジア・南米・アフリカなどから毎年80～100名程度のお客様を受け入れております。本年度は新たにモンゴルからの視察も受け入れました。

かんたんな挨拶言葉などを使って、本校に来校する見学者と触れ合い、授業の中でやりとりする機会をもって外国への興味・関心を高める取組を実施



JICAモンゴル視察団の見学

教員の国際交流

【今年度の取り組み】
姉妹校である中国の2つの特別支援学校との交流

- ・本校への研修職員の受入
- ・スカイプを利用した授業研究会の実施



本校研修時の記念撮影

【教員の国際交流①】 中国寧波市達敏学校教員の研修受け入れ

平成27年7月8日(水)と9日(木)の2日間、姉妹校である中国寧波市達敏学校の教員12名が、自閉症児の授業実践についての研修のため来校

1日目

研修日程

2日目

- ①幼稚部と小学部の授業公開
- ②両学部の教育課程の説明を実施

教育課程説明の際では、日本における自閉症教育の歴史や自閉症の診断基準にも触れ、本校の時間割や授業内容が自閉症児の障害特性にどのように配慮されているのかを解説

本校における家庭支援の紹介

前年度に、本校教員が達敏学校を訪問した際、保護者との連携の仕方について様々な意見交換が行われたことや、直接、幼稚部保護者との懇談を実施したこともあり、活発な質疑応答がなされた



授業参観の質疑応答



幼稚部の授業参観(プール遊び)



夜の歓迎会の様子

【教員の交流②】

中国蘇州工業園區仁愛學校とのスカイプを利用した授業研究会

中国蘇州工業園區仁愛學校(以下仁愛學校)と、スカイプを利用した知的障害を伴う自閉症児の授業研究会を実施

【授業研究の進め方—本校の授業についての研究会】

①事前に幼稚部及び小学部の研究授業の映像と学習指導案を相手校へ送付し、授業についての質問や意見を受け取る
(※対象授業…幼稚部「おやつたいむ」、小1「図工」、小2「音楽」)

②授業研究会の実施(10月21日)

本校の研究授業に対する質問に授業担当者が返答

本校からは校長、学部主事、主幹及び研究授業の担当教員が参加

仁愛學校からは、校長及び授業への質問等をいただいた教員約20名が参加



(左)本校の授業研究会の様子



(右)仁愛學校の授業研究会の様子

【授業研究会の内容】

授業研究会は、幼稚部→小学部1学年→2学年の順に実施
(通訳—仁愛學校の教員)

《質問内容》

- 授業場面での子供の動きに関して
- 今後の授業にどう繋げていくのか
- 自閉症に特化した指導内容として取り入れていることは何か

○食事場面など、基本的な生活習慣の伴う場面では、「中国ではこのように(子供に)関わるのですが。」といった、同じ活動内容でも、日本と中国では異なった関わり方を行うという意見交換もなされた。これらのことから後半は、本校と相手校の指導方法等について協議を行い、大変有意義な授業研究会となった。



本校教員による質問への応答



仁愛學校の返答を視聴する本校職員

Skype(スカイプ)は、マイクロソフト社が提供するインターネット電話サービスである。

CHECK!